



“稼ぐ力を高める”セミナー 地銀の運用担当者対象に

2018年10月12日 15時25分

人口減少や長びく低金利で経営環境が厳しさを増す地方銀行の運用担当者に、稼ぐ力を高めてもらおうというセミナーが開かれました。

都内で開かれたセミナーには、地方銀行15行の運用担当者などおよそ30人が参加しました。

この中では、東京の資産運用会社の担当者が、国内に限らず、海外の債券や株などにも資産を分散し、収益とリスクのバランスを取る必要性や、どこまで損失を許容するか方針を明確にし、経営陣と共有することがリスク管理にも役立つなどと、実践的なアドバイスをしていました。

歴史的な低金利などを背景に、全国の地方銀行は半数以上が融資などの本業で赤字になっています。

このため、債券などの運用で収益を改善することが求められていますが、地方ではリスクを的確に見極められるような専門性の高い人材の確保が課題になっています。

秋田県の地方銀行の運用担当者は「今までどおりのやり方では収益をあげられない。どの程度までリスクをとれるのか考えたい」と話し、主催した「オールニッポン・アセットマネジメント」の永野竜樹常務は「今のような低金利の中では、海外の資産も含めて運用をしていかなければならない。リスクを管理しながら収益を上げることが地銀の経営者にとっても重要なテーマだ」と話していました。